

☆ その他、SAKE BASE の小山での活動が全国紙に紹介される

報告：赤シャツ親父

SAKE BASE の若者3名による酒米作りがプレジデント社発行の雑誌「dancyu」に紹介された。SAKE BASE の活動は小山ではまだ2年目であるため、小山 YPP は小山で活動する古参として小山の田作りの流儀を伝授するなど、彼らの活動が円滑に進むよう助力している。なお、関連して dancyu 記者より、小山の田んぼ事情に係る取材に応じてほしい旨連絡があり、応じることで調整している。

【谷津田・季節のたより】

下大和田町 2月 7日 ニホンアカガエル卵塊数 171 個。

2月 18日 ニホンアカガエル卵塊 815 個、シュレーゲルアオガエル鳴く。

2月 22日 ウグイス完璧に囀る

報告：網代春男

小山町 2月 4日 関東に春一番吹く、観測史上最早を更新との事。(赤シャツ親父)

2月 20日 イタチのペアうろうろ。(赤シャツ親父)

2月 22日 初産卵(10日)のニホンアカガエルの卵塊がようやくハッチング。(たんぼぼ)

2月 23日 この日よりウグイスのさえずりが聞こえる。(たんぼぼ)

2月 24~27日 アカハラ間近で見ると、キジ親子(雄、雌、子ども5羽)度々通過、ウグイスの声、セグロセキレイ忙しそう。鳥や動物たちの活動が活発になって来ました。(たんぼぼ)

【イベントのお知らせ】

参加費：小学生以上 100 円、森と水辺の手入れは無料

主催：NPO法人 ちば環境情報センター 観察会とゴミ拾いは、ちば・谷津田フォーラムと共催

連絡先：小西 TEL.090-7941-7655 ,E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

イベント中止のお知らせ

コロナ感染拡大防止のため**当面一般参加のイベントは中止**します。なお、緊急事態宣言が解除された場合には状況に応じ感染防止対策を講じながら行事を再開しますのでご照会ください。

次のイベントは感染防止対策を講じながらスタッフのみで実施する予定ですが、
新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては中止することもありますのでご了承ください。

<下大和田谷津田>

・「野草を食べる会・米づくり説明会」3月20日 中止します

なお、今年初めて米づくりに参加する方対象の説明会のみ実施します。(個別案内)

・森と水辺の手入れ 中止予定です

日時：2021年 3月21日(日) 9時45分~12時 雨天中止

持ち物：マスク着用、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、軍手、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費：無料

・第261回 下大和田YPP「苗床作り・種まき」

日時：2021年4月3日(土) 9時45分~14時 雨天決行

持ち物：マスク着用、長袖長ズボンの服装、田んぼ用長靴、帽子、ゴミ袋、飲み物、弁当、敷物。

参加費：米づくり年間参加者以外 300 円(小学生以上)

・第255回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

春の花や生きものを観察しながら谷津を巡ります。

日時：2021年4月4日(日) 9時45分~12時 雨天決行

持ち物：マスク着用、筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

<小山町谷津田>

・第191回 小山町YPP「苗代作り」

2021年度の小山での田作りがいよいよ始まります。

日時：2021年3月27日(土) 10:00~ ☆小雨決行

場所：りんどう広場

※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo_i@nifty.com)までご連絡下さい。



令和2年度小学校田んぼ・最終報告 ～脱穀編～

今年度の小学校田んぼの全ての作業は無事終了しました。COVID-19の影響で、味噌仕込みは中止になりましたが、フィールドで実施する全ての作業を体験できたことは幸いでした。また、大椎小、あすみ小両校の子どもたちからは感謝のお手紙を頂きました。本当にありがとうございました！温かい言葉に、泣きそうです！さて、今回をもって令和2年度小学校田んぼの最終報告となってしまいますが、脱穀作業での子どもたちの感動、感謝の気持ちあふれる感想をお伝え致します。できるだけたくさん掲載したいと思います。文字が小さくて見辛いかもかもしれませんが。。。お許してください！（赤シャツ親父）

【大椎小学校 10月29日】

☆ 稲刈りの時稲の手触りが少しかわって、ざらざらしていました。色も前の時と違い、茶色っぽくなっていました。粃摺りを終わった時の匂いはほんのりあまそうな匂いでした。(Y.A)

☆ 稲はかさかさして田んぼの匂いがしました。私は脱穀する作業はあまりないと思っていたけど、実際は沢山あって大変な作業が多かったです。でも、お米づくりは楽しい作業や、お米ができたときの嬉しさなどやって良かったことも沢山あって、また機会があったらやりたいと思いました。(M.O)

☆ 唐箕機で軽い稲と重い稲を選別しました。私は「そんな素晴らしいものを誰が作ったのだろう。。。と思いました。(Y.K)

☆ 唐箕を使った時はハンドルをずっと回さなきゃいけなくて肩が痛くなりました。粃摺りする前は粃殻がついていてざらざらしていました。粃摺りをした後はつるつるしていました。(K.K)

☆ とても良い体験ができました。昔の人が使っていたものを体験できたからです。昔の物はとてもすごいと思いました。そういうものが残っていてとても嬉しかったです。(K.K)

☆ 足踏み脱穀機は本当にとれるのかなと思ったが、やってみると良くおちびっくりした。唐箕機は考えた人はすごいなと思った。粃摺りをやって機械でやったときは楽だったが、ボールで手でやると、いっぱいやって1人前作れなかったの、お皿の上にご飯がのるのは当たり前で無いんだと実感した。(H.S)

☆ 稲はちくちくして草の匂いがしました。粃摺りがとても面白くて粃摺り機が無いときに使う手作業で、楽しくって良かったんだけど私が一番楽しくて面白かったのが唐箕機でハンドルが結構体力を使ったけど見てても楽しいしやっても楽しかったから良かったぁと思いました。(M.S)

☆ 楽しいと強く思ったのは足踏み脱穀機で粃を取った時です。やってみるとすごく難しく、でも三回目くらいから難しいから楽しいに変わりました。五回目くらいには「上手だね」や「名人」と言ってくれたのですごく嬉しかったです。最後までドキドキしていました。お米について深く知りたいと思いました。(N.T)

☆ 目を見た時は「楽しそう」「やってみたい」と思ったけど、やってみると沢山動いて手足も沢山使うので大変でした。なかなかできない特別な体験だったと思いました。(H.Y)

☆ 一番楽しかったのは足踏み脱穀機です。種が勢いよくとれて行くのがとても気持ち良かったです。みんなで頑張ったので全て脱穀できました。(R.M)

【あすみが丘小学校 11月5日】

☆ 稲1束にこんな努力があるんだなあ。お米1つぶでこんな時間がかかるんだなあ。ともっとおいしく食べようと思いました。(C.I)

☆ おいしいちゃんが米農家でとても大変なんだと思い、もっと色々なことを聞きたいと思いました。米農家にならなくても他の形で関わりたいです。(K.S)

☆ お米を爪でとる部分で指を切ってしまいました。一生懸命がんばったという証の様に思えてきて少しうれしかったです。(T.T)

☆ 心に残ったのは、ボランティアの方が「お米は太陽のカプセルなんだよ」という言葉でした。お米1つぶ1つぶにたくさんの栄養が含まれていることがわかりました。(M.N)



(Y.K)



(S.K)

☆ 一番難しかったのが千歯こきでやる脱穀です。とても力がいらいます。自分たちが作った稲(お米)をYPPやボランティアの方々、1~6年生に食べてもらって「おいしい」と言ってもらいたいです。(K.M.)

☆ 千歯こきはとがったはりにお米をあてて、「すりすり」しました。粃摺りは、野球のボールを使って「ごりごり」やりました。足踏み脱穀機は、足で板を踏んで、稲を持って「しゃらしゃら」やりました。唐箕がけは、稲を上から落として、それをもう一人の人が「くるくる」まわしてやりました。(A.A.)

☆ 藁縄いで色々なものをつくれると知って驚きました。私たちが居なくなったあと片付けていたりきれいにしたりするのを見ました。昼休み外へ遊びに行くときに米のごみが全然無かったのですごいと思いました。(S.A.)

☆ 田んぼは、絆も深まる良い体験でした。(R.I.)

☆ 苦労とやりがい楽しさを知りました。だれかを喜ばせたり、誰かの役に立ったり、とても良いものだと思います。必死になったり、夢中になったり、想像したり、笑ったり、本当に色々な体験をしたと思いました。(S.S.)

☆ 4人で大きくて長い縄が作れました。よく神社とかに行くと、ものすごく太い縄があって、どれくらい太くて頑丈なんだろうって考えたことがあります。自分で作った小さい縄でさえちぎれないのでビックリしました。(Y.N.)

☆ 稲刈りをした時よりもこんなに茶色くなることに驚きました。お米を玄米にするためにソフトボールでつぶして中を出して「ぶー」と息をやって本当に楽しくて、気持ちよくて、たくさんやりました。(H.M.)

☆ おばあちゃんが農家で米を育てていて、手伝いをしたとき「もう無理〜」とか思っていたけど、今度、おばあちゃんの家に行くので、楽しかったよ、大変だったよと、沢山教えてあげたいです。(A.Y.)

☆ 唐箕は取っ手の所を回すと奥のつながっている羽のようなものが回り、ごみや軽い粃などが飛んでいき選別される、足踏み脱穀機は足場の上下動を回転運動に変え回る部分の針のようなものが粃を取るなどの仕掛けや作りがよくわかりました。(Y.Y.)

☆ たくさんのお母さんたちや、お父さんたちに色々助けてもらったり、教えてもらったりしました。上手に出来たと思ったのは、足踏み脱穀機です。担当のお母さんにとっても良いアドバイスをもらって、とても上手に出来たと思っているからです。(Y.K.)

☆ 稲はむだなところが一切無いと知って驚きました。唐箕掛け回す時は回すのを止めてしまうと、軽いお米も重いお米の所に行ってしまうのでずっと回している時が大変だと思いました。(N.R.)

☆ 粃をよく見ると小さく細かい毛が生えていました。茶色くとても固くお米の美味しい匂いもしませんでした。粃の殻をとる作業は疲れたけど楽しかったです。(S.I.)

☆ ビックリすることがいっぱいでした。色々な手順で稲から玄米まで変わっていきました。稲がまるで変身しているようでした。(N.S.)

☆ 千歯こきはものすごく力が必要で稲を引っ張ると自分がひっくり返りそうでした。できた実を精米して自分たちが毎日のように食べているお米になるんだなあと少し感動しました。(R.T.)

☆ 野球のボールをこする作業は腕の力が必要でした。粃殻を息で吹き捨てる作業は、インコの餌の殻を飛ばすことに似ていて、それをイメージして取り組みました。(A.Y.)

☆ 脱穀で学んだことはとにかく大変だという事、お米は大切だという事です。なのでいっぱいお米を食べたいです。(A.Y.)



■編集後記 3月の田んぼでは、カエルたちも産卵を開始し賑やかになってきております。来年度の田作りの準備も着々と進んでおります！がんばるぞ！

(赤シャツ親父) ※ 活動にご興味がある方は、
tomizo_j@nifty.com 赤シャツ親父 まで